

1万人のエコチェック事業

事業概要

県内約1万人の公衆衛生推進委員を対象に、家庭で消費されるエネルギーの削減運動を展開する事業で、平成22年度からスタートした。内容は、9月の検針日までの約1ヵ月間、家庭で電気・ガス等の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、その効果を数値的に「見える化」する。今年度は、電気・ガスのほか、灯油・ガソリン・軽油の項目も新たに追加するとともに、実践率50%を目指した。多くの推進委員の実践を促すため、エコチェックカードは、広島県公衆衛生大会の「エコチェック事業おたのしみ抽選会」の抽選券として活用。さまざまな景品が獲得できるしくみとしている。



● エコチェックカードおもて(左)、うら(右)

事業の流れ

- 4月27日(金) 事務担当者会議(1万人のエコチェック事業実施要領配布)
- **7月31日(金) 申請〆切**
(申請後) エコチェックカードと記載マニュアルを郵送にて配布
- (8月~9月) 各家庭で省エネを実践(電気・ガスの **9月分検針票** を確認)
- (9月 下旬) エコチェックカードに電気・ガスの使用量、省エネ実践項目を記入
- 10月12日(金) エコチェックカードを各公衛協に提出〆切
- (10月 中旬) エコチェックカードを回収し、集計を実施
- 10月22日(月) 実施報告書を提出〆切
- **11月 1日(木) 第53回 広島県公衆衛生大会にエコチェックカードを持参**
(一万人のエコチェック事業おたのしみ抽選会の実施)

エコチェックカード記入マニュアル

エコチェックカードの記入方法について分かりやすく解説したマニュアルを配布。使用量のお知らせの見方や省エネ実践項目などを記載している。



(A3見開きサイズ)

平成24年度の実績

申請人数・実践人数

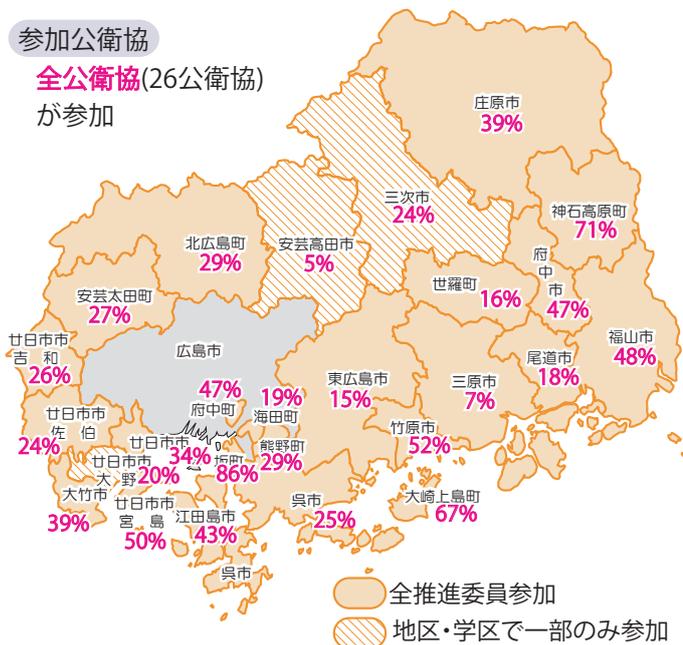
広島県内公衆衛生推進委員(広島市除く) **9,268人**のうち、

申請者数:**8,063人(参加率:87.0%)**

実践者数:**2,606人(実践率:28.1%)**

参加公衛協

全公衛協(26公衛協)
が参加



(注)実践推進委員数・・・エコチェックカードを提出した人数

エコチェック事業集計報告

各公衛協実績報告より集計

電気	平成24年度	平成23年度(参考)	平成22年度(参考)
実践世帯数	2,606 世帯	2,202 世帯	2,116 世帯
1世帯当たりの平均使用量	約524 kWh	約556 kWh	約570 kWh
1世帯当たりの平均増減量	約14kWh ↓(減)	約58kWh ↓(減)	約75kWh ↑(増)

実践率ベスト3

実践率がベスト3に、おたのしみ抽選会で記念品を授与

あったかグッズでもっと省エネ

- 第1位** 坂町(実践率:86%)
- 第2位** 神石高原町(実践率:71%)
- 第3位** 大崎上島町(実践率:67%)

充電式エコ湯たんぽ 24個

平成24年度の実績

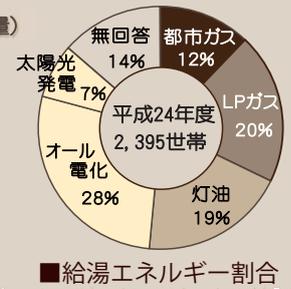
平均的な家庭の電気使用量

回収したエコチェックカードのデータを集計し、家族人数別・給湯エネルギー別の平均電気使用量を算出

標準値基礎データ（平成24年9月の電気使用量）

■有効回答数 2,395データ

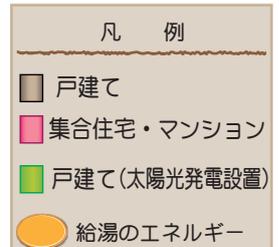
■戸建率 87%



電気使用量 (kWh)



電気使用量 (kWh)



おたのしみ抽選会

マツダスタジアム観戦チケット (10試合分 5~6人/試合)



★当選した公衛協★

- 竹原市(2)
- 大崎上島町
- 廿日市市大野
- 東広島市黒瀬支部
- 三原市
- 福山市松永学区
- 呉市(3)

福山市特産品セット(30セット)

- ・飲むバラ
- ・ばらジャム
- ・保命酒のご飴
- ・保命味噌
- ・えびふりかけ
- ・かき醤油
- ・おこのみあられ
- ・つずみ
- ・かなべー筆箋



★当選した公衛協★

- 竹原市
- 大崎上島町
- 大竹市
- 廿日市市
- 廿日市市大野
- 廿日市市宮島
- 北広島町(3)
- 世羅町(2)
- 尾道市
- 福山市(6)
- 府中市(3)
- 三次市
- 庄原市
- 呉市(4)

リアルタイム電力モニター (10個)



★当選した公衛協★

- 府中町(2)
- 東広島市
- 三次市(2)
- 庄原市
- 呉市(4)

成果

●全公衛協が実践

実践率は28%(実践者数:2,606人)で、昨年度より2ポイント増加。

●平均的な家庭の電気使用量を算定

回収したカードから電気使用量の数値をデータ化し、住居属性別の標準電気使用量を算定

●実践率ベスト3を表彰

抽選会の席上で、実践率が高かった公衛協を表彰

平成25年度に向けて

●目標値は実践率50%を継続して設定

平成27年(事業開始5年目)までに達成を目指す。

●カードは葉書仕様に変更

実践率向上を目指すため、エコチェックカードを返送できる葉書仕様とし、実践項目は電気のみとする。

●マニュアルを全面改定

活動のマナー化を防ぐために、新たな動機付けとして、平均的な家庭との比較ができるようマニュアルを全面改訂する。